九州大学附属図書館報
ISSN1881-6509

きゅうとNEWSLETTER

VOL.3
NO.2
2008.6

◀山崎朝雲作　仙厓和尚坐像

平成20年度九州大学開学記念行事　第49回附属図書館貴重文物展示

「中山森彦と仙厓展」満員御礼!

中央図書館では、5月8日から15日にかけて貴重文物展示会「中山森彦と仙厓展」を開催しました。今回の展覧会は、文学部の後小路教授の企画構成により、医学部教授であり美術評論家としても活躍した中山森彦博士が蒐集された仙厓の書画ほかを展示しました。期間中、1,012名もの来場者があり、「九大にこのような作品があるとは驚いた」などの感想をいただきました。

11日には、仙厓芸術研究家の第一人者、中山喜一朗学芸員（福岡市博物館）による講演会を開催しました。ユーモアに富んだご講演に、満員の会場は爆笑の渦につつまれました。

故 中山森彦 医学博士（1867～1957）
（九州大学名誉教授）

CONTENTS

- つなぐ
  「情報発信!! 附属図書館」
  谷本　佑
- 資料紹介
  伊岐流鎗術目録
  （六本松図書館所蔵檜垣文庫より）
- 自著紹介
- NEWS
- 図書配送サービスをご存知ですか？
- RefWorks 利用説明会　開催します
- 図書館員のおしゃべりコラム

つなぐ

情報発信!! 附属図書館

農学部生物資源環境学科4年　谷本　佑

情報

情報ってなんでしょうか？普段何気なくこの言葉を使っていますが具体的な意味を考えたことがありますか？広辞苑では「判断を下したり行動をおこしたりするために必要な、種々の媒体を介しての知識」とあります。どんなことをするにしても、きっと僕たちは何かの情報を元にして判断、行動しているということです。

図書館＝情報集積の場

では情報をどこから入手しますか？インターネット？新聞？テレビ？友人との会話？情報はいろいろな形であなたの周りに存在し、さまざまな方法で入手しています。最近はパソコン一つあれば世界中の最新の出来事や娯楽など、多くの情報をインターネットですぐに手に入れることができます。でも、新聞や雑誌、文庫などデジタルではないツールからでも多くの情報を手に入れることはできます。九大附属図書館ではそのような様々な情報を収集・保管し利用者に提供しています。もちろん電子ジャーナルなどデジタル化された情報も十分に整備されています。その意味では図書館は膨大な量の情報を集積している場所なんです。

情報のアンテナ

僕は今４回生で、卒業研究の真っ最中です。研究に関連する資料を探すために図書館に来ることも少なくありません。でも、図書館に来た時は専門の農学系の本だけではなくいろいろな分野を見るようにしています。それは、もちろん単純に興味もあるんですが、〝いつか役に立つ情報〟があるかもしれない、と思ってその本を選ぶこともよくあります。常日頃から情報のアンテナを張っておくことで、その情報がすぐに役に立つものでなくても、「そんな話を本で読んだことがあるな」程度の記憶になっていた時にも行動を起こすための何かのキッカケになるかもしれない。そんな気持ちで図書館をふらふらしては、気になる本をつまんで読んでいます。

図書館に、本に出会いに行く

情報収集とか行動のきっかけとか難しく言わなくてもいいかもしれません。「本に出会いに行く」そんな感覚でいいと思います。読みたい時に読みたい本を読む。それだけでいいんです。気の合う本と出会えば（ それが小説でも参考書であっても ）するすると読んで頭の中に入っていくからです。逆に読みたくない本はいくら読んでも頭に入ってきませんしね。

九大附属図書館には、とても古い貴重書から最新のジャーナルまでたくさんの図書があります。MyLibrary を使うと九大内の他館の蔵書も取り寄せることができるので、気になった本はどんどん取り寄せてみてください。

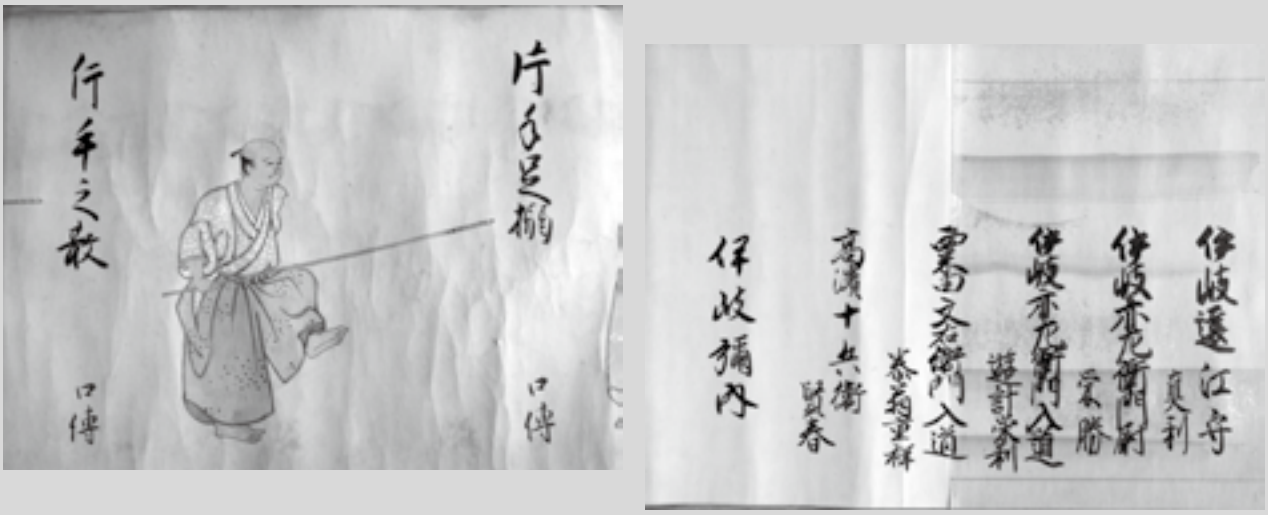
本に出会いに行くために図書館に足を運び、本を読んでみてはどうですか？あなたが読みたい本を読みたい時に、でいいですから。そうすればきっとあなたの人生を変えるかもしれない本に出会うかもしれませんよ。

伊岐流鎗術目録（六本松図書館所蔵檜垣文庫より）

九州大学六本松図書館に所蔵されている「檜垣文庫」は、本学で長く国史学を担当された檜垣元吉（1906 ～1988）元教養部教授により収集された古文書類を中心とする膨大な資料が、先生の没後御遺族を通して教養部図書館（現・六本松図書館）に寄贈されたものです。その内容は檜垣先生の主要研究テーマであった北部九州地域の近世史料が中心となっていますが、そのほかにも広範囲の地域における原始から現代にいたるまでの様々な史料により構成されています。

檜垣先生はその主な研究テーマであった地域史研究のなかで、取り上げられることの少ない「武道史」についても関心を寄せており、檜垣文庫のなかには武術関係の史料も多く見ることができます。今回は檜垣文庫のなかでも紹介されることの少ない武術関係史料の中から、福岡藩に伝わっていた「伊岐流（いきりゅう）鎗術」関係の史料について紹介します。

「伊岐流鎗術」は、1500年代の後半に伊岐遠江守真利によって創始された鎗の流派であり、遠江守真利の子である伊岐又左衛門栄勝が黒田家に招かれたことで福岡藩に伝わったようです。その後三代目の伊岐遊計栄利に子がなく伊岐家は絶えてしまいますが、藩内ではその弟子たちにより数十年の間流儀の技が伝えられていきました。そして1700年代の後半に、伊岐流鎗術の技を受けついでいた一人、草場弥助が藩から鎗術師範として取り立てられたことを機に、新たに名を「伊岐弥内栄澄」と改め伊岐家を再興し、以後伊岐家は福岡藩のなかで伊岐流鎗術を「家業」として代々伝えていくことになりました。



伊岐流鎗術目録（部分）：技はその名称だけが記されており、詳細については「口傳（師から弟子へ口頭で直接伝授する）」とあります

檜垣文庫の伊岐家関係文書には、上に紹介した免許目録のほか、流祖遠江守真利から代々の由緒書、伊岐弥内となった草場弥助が譲り受けた伊岐家秘伝の品々の目録、多くの藩士が入門に際して代々の各師範に提出した起請文などがまとまって収集されており、伊岐流鎗術というひとつの武術流派がどのように代々受けつがれていったかを伝えるとともに、当時の藩士たちの日常生活の一面をうかがい知ることのできる史料にもなっています。

なお、檜垣文庫には福岡藩の「分限帳」（当時の藩の職員録のようなもの）も多数収集されています。各時代に作成されたこれらの分限帳などを調べたり、附属図書館に所蔵されている『新訂黒田家譜』『福岡藩分限帳集成』などをはじめとする図書資料や公共図書館、博物館の収蔵古文書目録などを丹念に調べていけば、今回紹介した史料に登場した人物たちの動きをさらに追っていくことも可能でしょう。

（六本松図書館 図書情報係　松石健祐）

主要参考文献：檜垣元吉「福岡藩武道史（八）伊岐流槍術」九州公論　第60号
九州大学附属図書館六本松分館「檜垣文庫目録　近世筑前国編」

自著紹介　本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください

誌面の都合により、一部次号掲載とさせていただきました。

人文科学研究院准教授　辻田淳一郎

「鏡と初期ヤマト政権」

ISBN:9784903763194　辻田淳一郎著　すいれん舎　2007.10

本書は、九州大学に提出した博士学位論文をもとに書き改めたものです。日本列島各地の弥生・古墳時代遺跡から出土する青銅鏡の分析を通じて、3 世紀中頃の前方後円墳出現期に近畿地方を中心として形成される広域的政治秩序がどのようにして成立したのか、そしてその実態がどのようなものであったのかについて、東アジア的観点から論じています。この研究テーマは、『魏志』倭人伝に記述された「卑弥呼」「邪馬台国」の時代の実態や、のちの古代天皇制を中核とする律令国家、古代「日本」の成立過程を長期的に考えていく上でも重要であり、その意味で現代日本人の自己アイデンティティとも密接に関係していると考えています。考古学の専門書ですが、東アジアや日本の古代史、そして歴史学全般に関心がある方に広く読んでいただければと思います。

[中央図書館／六本松図書館／文系合同図書室に所蔵]

芸術工学研究院教授　河辺　哲次

「スタンダード　力学」

ISBN:9784785322243　河辺哲次著　裳華房　2006.1

出版されている物理の本で、「力学」が一番多いでしょう。それは「力学」が諸分野・領域への「入り口」であり、理工系学生の「必修」であるためでしょう。長年の講義経験をもとに、初めて力学を学ぶ人を対象に書きましたが、普遍的な法則や方程式などを記述する書籍で個性を有する著作物を表すことは容易ではありません。勿論、数式の導き方・解釈・説明方法などに著者の経験や個性はでますが、一番の決め手は科学者としての「ものの見方・考え方」のように思います。詰まる所、一人の科学者としてどのように歩んできたかが端的に表現されると思いました。その意味で「力学」は単なる「入り口」ではなくて、もっと大きな規範を育てる入り口でもあるように思います。拙著がそのような入り口の役割を少しでも担えれば、と願っています。

[中央図書館に所蔵]

数理学研究院教授　若山　正人

「技術に生きる現代数学」

ISBN:9784000052412　若山正人編　岩波書店　2008.2

かつては応用を意図されなかった数学理論が、いまや最先端の技術開発を根底から支えるとともに、そこから新たな着想を得て、さらに洗練されてゆく姿を紹介することが本書のねらいです。とくに本書では、医療・生命科学や暗号・金融などのテーマについて、その中で数学の自由なアイデアがどのように展開されてゆくか、歴史にも触れながら初学者にも解りやすく伝えることを目的としました。

[中央図書館／理系図書館に所蔵]

人間環境学研究院教授　前田　潤滋

「仮設工学 －建設工事のQCDSEからSとEを中心として－（持続都市建築システム学シリーズ）」

ISBN:9784765525107　前田潤滋著者代表　技法堂出版　2008.2

建設工事環境を新しい視点で見つめる「仮設工学」には、建設工事環境を建築、土木、造船、電力設備など異分野・広領域に及ぶ建設現場での様々な課題を同じ視点で取り組む概念が込められている。

本書は、建設工事環境に要求される５つの管理、「品質管理」、「原価管理」、「工程管理」、「安全管理」、「環境管理」の中でとくに「安全管理」と「環境管理」に論点を置いた構成とし、建築学や土木工学あるいは造船工学分野の建設技術者を目指している学生や技術者の方々に「仮設工学」をやさしく解説する。

[中央図書館に所蔵]

芸術工学研究院教授　板橋　義三

「マタギ語辞典」

ISBN:9784434113048　板橋義三著　現代図書　2008.2

従来マタギの人々が入山して狩猟する際に使う山言葉があったことは知られていたが、マタギ語彙の独自性、その中のアイヌ語彙の存在や語構成、特にアイヌ語と日本語との混成性をもつ語彙も含めて、言語研究者が言語学的に分析したものは皆無であった。

「マタギ語辞典」は主に東北地方の北西部に残るマタギの人々が山で狩猟する時に使う、現在では瀕死の言葉を約 1500 項目収集したものである。現在使われている語、死語になった語をすべて分類し、単語はクロスレファレンスできるようにまとめ、それをその方言で記した。またマタギ語に発見された延べ 43 項目のアイヌ語彙についても詳しい記述を付し、その語構成、起源、マタギ語との関係なども詳しく分析し、それらをすべて本辞典に反映させた。

その意味においても本書は言語学的メスを入れた後、「マタギ語辞典」として辞書の形式をとって著した本邦初のものである。

[芸術工学図書館に所蔵]

人間環境学研究院准教授　山口謙太郎

「循環型の建築構造：凌震構造のすすめ」 ISBN:9784765525114

山口謙太郎，川瀬博著，Bradley Guy 著　技報堂出版　2008.3

本書は、建築材料を繰り返し使用するという方法でサステナブルな建築の実現を目指す「循環型の建築構造」について、研究の現状を紹介し、その効果や今後の課題などを述べたものです。「循環」の形態としては、特に「リユース」を意識したもので、建築材料のリユースを可能にするための構造システムはどのようなものであればよいか、また、その構造システムを採用することは、構造的にはハンディにしかならないのか、有利にはたらく点はないか、ということを中心に考察しています。

[中央図書館に所蔵]

このほか、以下の先生より、著作をご寄贈いただきました。

言語文化研究院教授　ヴォルフガング・ミヒェル

慶安三、四年の日本における出島商館医シャムベルゲルの活動及び初期カスパル流外科について（言語文化研究叢書18）

ヴォルフガング･ミヒェル著　九州大学大学院言語文化研究院　2008.3[六本松図書館]

史料と人物Ⅰ（中津市歴史民俗資料館分館医家史料館叢書Ⅶ）

ヴォルフガング･ミヒェル編　中津市教育委員会　2008.3　[六本松図書館]

NEWS

貴重文物講習会案内

九州大学附属図書館では、九州大学所蔵の貴重文物について認識を深めるために貴重文物講習会を開催しています。

今回のテーマは、中央図書館で所蔵している故Wolfgang Kunkel教授（ミュンヘン大学法学部）の旧蔵書「クンケル文庫」です。ローマ私法・公法・ローマ史、ギリシャ史、パピルス学などを中心にしたドイツ法史の資料で大変貴重なものです。代表的な文献として、ゴトフレッドウス版『ローマ法大全』（1688）などがあります。

関心のある教職員、大学院生の方、ぜひご参加ください。

貴重文物講習会（第 10 回）

日　時：平成20年7月25日(金)　15:00～16:30
会　場：中央図書館４階 視聴覚ホール
題　目：クンケル文庫について
講　師：西村重雄（福岡工業大学教授、九州大学名誉教授）
★参加申し込み
開催日の3日前までに、附属図書館コンテンツ整備課電子化係（db@lib.kyushu-u.ac.jp）までお知らせください。

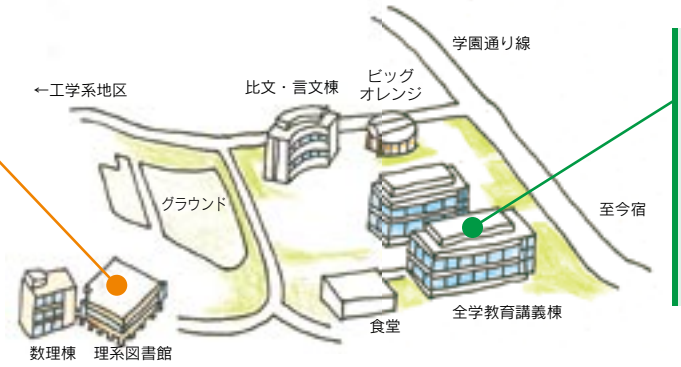
どうなる？伊都キャンパスの図書館①

21年4月の六本松キャンパス移転に伴い、六本松図書館の資料とサービスは、伊都キャンパスへお引っ越しします。伊都キャンパスでの図書館サービスがどうなるのか、これから数回にわたりご紹介します。

伊都キャンパスに移転する学生・教職員のため、ウエスト地区にある理系図書館の2-3階を増築して、サービスを提供します。

21年4月　六本松図書館3階にある学習用図書や雑誌が、理系図書館で利用できるようになります。

21年10月　増築リニューアルオープン！



講義棟4階には、参考図書や学習用図書を配した学習・交流スペースができます。講義室からすぐの場所ですので、授業の合間にちょっと寄って勉強したり情報交換したりするのにとても便利です。

お知らせ

○理系図書館の2-3階の増築工事が今夏より始まります。工事完了の21年7月までのあいだ、騒音や一部利用できない施設等がでてきます。
○理系図書館の自動書庫増設のため、今年8-9月の間、自動書庫の運用を停止します。この期間中、自動書庫の資料が利用できなくなります。

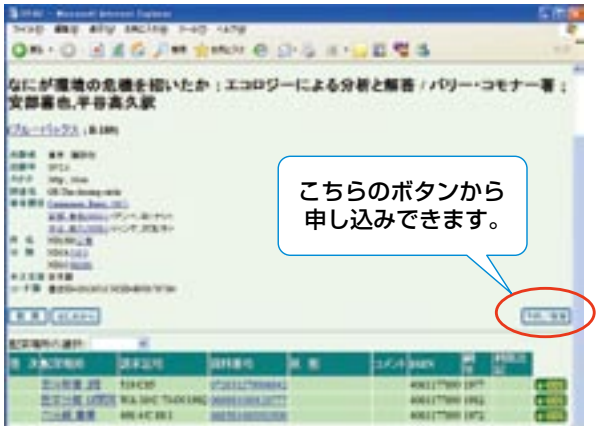
詳細はウェブサイトや館内掲示などで随時お知らせします。期間中、利用者のみなさまには大変ご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

図書配送サービスをご存知ですか？

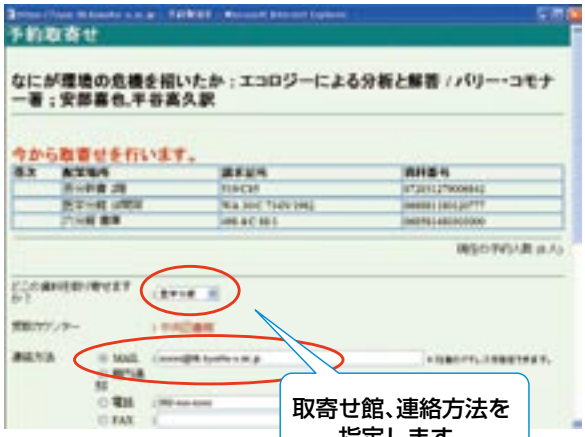
探している本が他のキャンパスの図書館にある場合、わざわざそこまで行かなくても、最寄りの館に取り寄せすることができます。また、借りた本はどこの館でも返却できます。

窓口カウンターでも申し込みできますが、図書館のポータルサービス、きゅうとMyLibraryに登録すると、Web上から申し込みできます。

図書館ウェブサイト ＞ 学習研究サポート ＞ MyLibrary（きゅうと MyLibrary）



OPACの検索結果画面



配送（予約）の取寄せ画面

図書館ウェブサイト>学習・研究サポート>RefWorks

RefWorks 利用説明会 開催します

WEB から探した文献情報、どうやって保存・管理していますか? RefWorks なら簡単に、保存・管理・参考文献リスト作成まで対応できます。

1度使ってみませんか? 学外からも利用できます。

入門編 ーはじめての文献リスト作成ー

文献情報の取り込みから、基本的な機能を紹介します

応用編 ーWord で便利に論文作成ー

投稿規程に合わせた引用文献フォーマットなど、詳細な設定や便利な機能を紹介します

RefWorks の提供元から講師を招き、わかりやすく説明します

文献情報を取り込む

Web of Science / CiNii / SCOPUS / MathSciNet / EBSCO / JDream / LexisNexis / Google / OvidSP / ProQuest / SciFinder

RefWorks

- 参考文献リストの作成
- 論文作成中に簡単引用
- フルテキストへのアクセス
- 文献リストを Web で公開

Microsoft Office Word 2007 / Write-N-Cite / LinQ

申込：図書館ウェブサイト>申し込み・照会>イベント・講習会 申込

https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/event/eventList.php

お問合せ：附属図書館 e リソースサービス室
Tel: 092-642-2336 E-Mail: esupport@lib.kyushu-u.ac.jp

箱崎地区

情報基盤研究開発センター4F
第 1 講義室
7/1(火)13:00-14:30 入門 編
14:50-16:20 応用 編

筑紫地区

総合研究棟(C-Cube)2F
E ラーニングルーム
7/1(火)13:00-14:30 入門 編
14:50-16:20 応用 編

六本松地区

1 号館 130 番教室
(教育情報システム六本松分室)
7/2(水)9:00-10:30 入門 編

大橋地区

情報基盤室 第1実習室
(教育情報システム大橋分室)
7/2(水)9:00-10:30 入門 編

病院地区

医学図書館2F
情報サロン
7/2(水)13:00-14:30 入門 編
14:50-16:20 応用 編

伊都地区

ウエスト 4 号館3F
情報講義室第1(305 室)
7/2(水)13:00-14:30 入門 編
14:50-16:20 応用 編

図書館員のおしゃべりコラム

中央図書館資料サービス係の田坂です。

図書館と言えば、エアコンの効いた職場で涼やかに働いているイメージがあると思いますが、結構肉体労働が多いです。

現在、中央図書館では、伊都キャンパスへの移転作業として、大量の本を送っています。

書架から取り出した本をダンボールに詰めて、配送し、理系図書館へ行って開封、配架作業になりますが、ダンボールが数百箱もあり、作業していると汗だくになります。

この作業以外でも真夏の書庫はとても暑くサウナのようで、本の配架のたびに大量の汗が出て痩せます。そして、もうすぐ草刈りの季節です。ん〜〜。

(中央図書館 K. T.)

発行:九州大学附属図書館
TEL 092-642-2533
URL http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/
携帯サイトはこちら